

生ごみの水切りは、しっかりと

燃やせるごみの中で、最も多くを占めるのは「生ごみ」で、その大部分は水分となっています。その水分が減ればごみの減量につながり、ごみを減らすことができれば、ごみ処理にかかる費用や負担も抑えることができます。生ごみは、捨てる前にしっかりと絞るなど、家庭でできる「ひと手間」にご協力をお願いします。



水切りの効果は？

生ごみを捨てる前に「水切り」をしていただくことで、次のような効果が期待できます。

- ①ごみの重量が減り、処分費用の節約につながります。
- ②ごみステーションの悪臭が減ります。
- ③焼却施設の炉の負担が軽減されます。

生ごみ処理機購入の補助

村は、家庭から出される生ごみの減量化を進めるため、家庭用の生ごみ処理機やコンポスト容器を購入された方に対して補助金を支給しています。

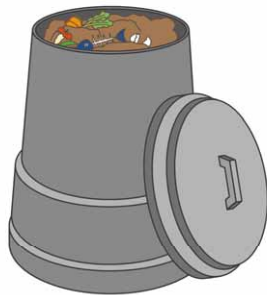
▼補助対象

- ①電気式処理機
- ②コンポスト容器
- ③EM容器

▼補助内容

- ①補助対象機種種の購入金額の2分の1
- ②補助金の上限額は2万円

←電気式処理機



コンポスト容器▶

地域おこし協力隊通信

▶問合せ 企画課地域振興係
☎24-5111(内線141)



タンドリーチキンは好評でした

先日、FM群馬のラジオ番組の生中継に出演した高橋さん。道の駅「あぐりーむ昭和」だけでなく、高橋さんの素のキャラクターが受けて大きな反響がありました。そんな高橋さんが開発した、タンドリーチキン弁当(要予約)を4月10日に開催された道の駅の桜まつりで販売。売れ行き好調でした。



昭和村地域おこし協力隊
高橋梨果子 隊員

道の駅「あぐりーむ昭和」
観光交流室で活動中!



ワイナリーの大きな樽に圧倒されました

高橋さんはまた、奥利根ワイナリー(金井圭太代表)を訪ね、ワインの製造過程や、ワイナリー誕生の経緯などを伺いました。ワインを仕込む大きな樽に圧倒されていた高橋さん。「コロナ禍が収まったら、奥利根ワイナリーのレストランでおいしいご飯とワインを飲みたい」と話していました。